

### 【研究テーマ】

当院の新規透析監視装置（DCS-200Si）導入による血液透析回路アーチループの性能比較研究

研究責任者：徳島県立三好病院	臨床工学科	主事	大林秀太
共同研究者：徳島県立三好病院	臨床工学科	主査兼副科長	渡邊真理
徳島県立三好病院	臨床工学科	主任	島田大輔
徳島県立三好病院	臨床工学科	主任主事	伊藤佳斗

### 【研究目的・意義】

2024年3月から透析室に新しく導入された多人数用透析監視装置 DCS-200Si に伴い、透析回路を変更した。この透析回路変更により生じた患者データへの影響について報告する。

### 【研究方法および内容】

以前使用していた多用途コンソールと血液回路の組み合わせと新規透析監視装置（DCS-200Si）と新規血液回路の組み合わせを後ろ向き研究で各1年間のデータを比較検討する。

透析開始時と開始2時間後の静脈圧、透析液圧、膜間圧力差、限外濾過率の4項目を比較検討する。

評価方法は、Paired t-test 法を使用する。

### 【研究期間】

R7年5月23日から終了未定

### 【研究対象】

2021年から2025年3月までに維持透析をおこなった患者3名